

学校の教育目標  
ひろい心を持ち  
豊かに表現できる子



対話的な活動によって、学び合う楽しさを実感できる授業づくり



研究の仮説  
付けたい力を明確にし、数学的な表現による対話的な活動の仕方を工夫すれば、できた喜びや学び合う楽しさを実感できる授業につながる。



研究内容		
(1)3つの資質・能力を明確にした単元指導計画の作成 ○単位時間の学習目標を明確にした単元指導計画の作成 ・「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの視点で明らかにする。	(2)学習指導過程の工夫 ○対話的な学びを実現するための工夫 ・教師の問いかけ ・問題の工夫	(3)児童の実態に応じた指導の工夫 ○個の実態把握とつまずきに対する手だての工夫



学年部のめざす姿		
低学年部	中学年部	高学年部
自分の考えをもち、具体物などを使って、数学的な表現ができる。	自分の考えに見通しをもち、根拠を明らかにし、筋道を立てて説明できる。	多様な表現を用いて説明し、学び合う楽しさを実感できる。



「学び方」を身につける素地

～言語活動の充実～ 自分の考えや思いを表現し、伝える力の習得	～各教科で養う力～ 基礎的・基本的な知識・技能の習得
-----------------------------------	-------------------------------